

障害と

アートの前に

伝えたいこと

2018.10.12(fri)15:00-17:00

堺市立健康福祉プラザ1階体育室
(sakai ARTcation 2018会場)

片山工房

と

すたじおぼっち

第1部 「実際の現場紹介」 15:00～

すたじおぼっち：室本早知 片山工房：川本尚美

第2部「障害とアートの前に伝えたいこと」 16:00～

新川修平 = 大内秀之



室本早知

1981年、神戸市須磨区生まれ。社会福祉法人明桜会すたじおぼっちサービス管理責任者。

同法人の入所施設で支援員をしていた頃、各地の表現活動に刺激を受け、2014年4月すたじおぼっちを開所。表現活動を通して、様々な人が様々なまに居られる場として活動している。

川本尚美

1985年、神戸市長田区生まれ。大阪成蹊大学芸術学部卒。学芸員。写真家。障害のある方の表現に魅了され、その方々の創作活動に寄り添いながら、日々の大切な生活の場を紡ぐ。現在は「人が軸」をテーマに掲げる片山工房にて、アートディレクターとしても活動。社会とつなげる事業「神戸ビエンナーレ2015・ハートでアートこうべ・もとまちハートミュージアム等」にも参加している。



新川修平

1974年、神戸市長田区生まれ。特定非営利活動法人100年福祉会 片山工房 理事長。芸大中退。映像作家。20歳で阪神淡路大震災を経験し、自宅が全壊、避難所生活を半年続ける。当時、障害のある方の作業所へボランティアで通い、「全てはみな人である」を知る。2003年・障害のある方の表現に特化した片山工房を神戸市長田区に設立。人が軸を基本とし、人をテーマに社会に投げかける。さまざまな実行委員や行政企画委員、人・アートと社会を主とした講演・執筆等多数。関西福祉大学講師等。

会場：堺市立健康福祉プラザ(堺市堺区旭ヶ丘中町4-3-1) 1階体育室 (sakai ARTcation 2018会場)

アクセス

お車でお越しの場合

大阪府道30号 大阪和泉南線「塩穴」交差点より東へ約450m (地下1階に専用駐車場(有料)あり)

公共交通機関(電車)

JR阪和線「百舌鳥」駅下車・西へ1.4km(徒歩15分)「上野芝駅」北西へ1.3km(徒歩15分)

公共交通機関(バス)

南海バス「堺東」駅前バス乗り場より2系統(宮山台経由 泉ヶ丘行: 10番のりば)
「旭ヶ丘」バス停下車すぐ

問合せ

堺市立健康福祉プラザ 4階 市民交流センター

TEL 072-275-5017 FAX 072-243-0330 MAIL simin-kouryuu@sakai-kfp.info

ホームページ

<http://www.sakai-kfp.info>

